平成29年
4月開設
（予定）

福島大学
教職大学院案内

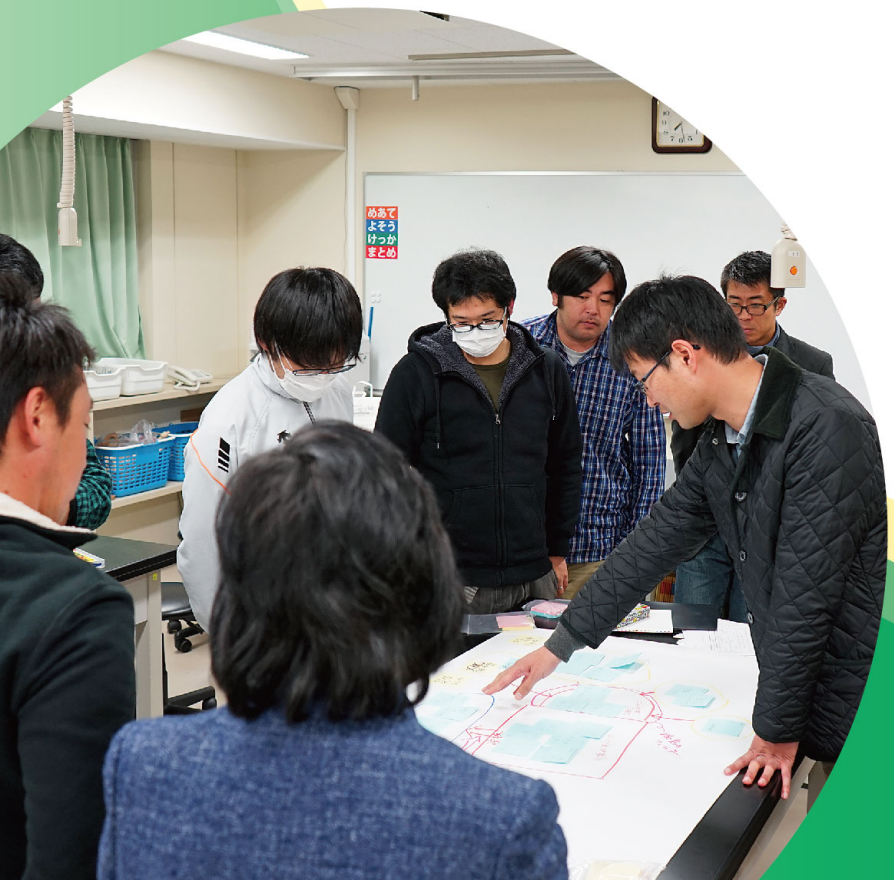
大学院人間発達文化研究科教職実践専攻

設置認可申請中

※紙面の内容は予定であり、変更する場合があります

ふくしまの教育を支える
ミドル・リーダーを育てる

福島の教育課題を認識し、新たな教育の探究により
未来を創造する教員を養成する大学院



- ミドル・リーダー養成コース
- 教育実践高度化コース
- 特別支援教育高度化コース

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

教職大学院とは？

学校現場の教育課題を研究し、その成果を地域や現場に還元していくことで、教員としての資質・能力向上を目指す大学院です。

福島大学教職大学院は、
福島県教育委員会と教育課題を共有し、
ふくしまの未来を創造する力を高めます。

福島大学教職大学院の特徴

1 自らの教員像と役割に応える
コース別カリキュラムで
いま学校現場にある課題解決を図ります

- アクティブ・ラーニングの導入
- 放射線教育・防災教育の推進
- 教育相談力の向上
- 複雑化・深刻化する生徒指導
- ESDを意識した環境教育の推進
- 理数教育の充実
- 体力・運動能力の向上
- グローバル化等への対応
- インクルーシブ教育
- 道徳の教科化
- ICT教育の推進

など

→ いま学校現場にある教育課題

2 大震災後の「福島県の教育課題」に
応えるべく、現状を把握し
福島の未来を創造する独自の教育を創出します

福島の課題 世界的動向 → ふくしまを生き抜く子どもたちに必要な力
自ら学ぶ力　未来に伝える力　未来を創り出す力
→ 自立した人間　グローバル・リーダー

3 理論と実践の往還及び
深化・展開・発展を保証することで
４つの資質・能力を育成します

新たな実践を可能にする４つの資質・能力

- 省察力　マネジメント経験を積みながら省察する力
- 授業力　高度な授業力
- 探究力　アクティブな理論的探究力
- 新たな自覚　新たな教職への自覚と強い責任感

理論と実践の往還

チーム学校を牽引する	「ミドル・リーダー」	学年・学校課題に対応する力
高度な教育実践力の修得	次の「ミドル・リーダー」	学校課題への意識を高める
学校での教育実践力の修得	次世代の「ミドル・リーダー」	学校課題への意識を高める

学校現場における課題と必要な理論をていねいにつなぎ、PDCAサイクルをベースとして、課題の発展的な解決を目指します。また、ミドル・リーダーとして、これからの福島における教育を支える「真に学び続ける教員」としての資質・能力を育みます。

４つの資質・能力を　育むカリキュラム

省察力

学校課題対応実習

公開研究や校内研修の企画・運営に参加し、学校課題の解決を目指します。大学教員も研究者・実務家教員のチームで参画します。

授業力

主体的な学びで育成するための理論と実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
（Ⅰ：言語活動・表現活動、Ⅱ：課題探求・解決力、Ⅲ：協働的問題解決・自己有用感）

新たな教育課題について、各視点から教科横断的枠組みで検討し、授業内容・方法等の高度化を図ります。

探究力

学校マネジメント論及び事例研究

教員組織の運営や学校経営を理論的にとらえ、自らの実践を振り返り実効性の高い学校経営ビジョンを構想します。

新たな自覚

福島の学校と教育課題Ⅰ・Ⅱ

震災後抱える諸問題を踏まえ、福島独自の未来型教育をどう創出するかというビジョンを持ち、自らの実践を通した解決方法を探究します。

各コースの特徴

教職経験や自らの教員像と役割に合わせて、「ミドル・リーダー養成コース」、「教育実践高度化コース」、「特別支援教育高度化コース」を選択します。

ミドル・リーダー養成コース　学年・学校経営課題への対応力を磨く

ミドル・リーダーを目指す方

教職経験10年程度以上の方

自らの教育実践力（授業力、生徒指導力など）をもとに、学期、年間等の見通しを持ち、学年レベル、学校レベルの課題に対応する力をつけたい方

教育実践高度化コース　基盤となる教育実践力を磨く

次のミドル・リーダーを目指す方

教職経験３年以上の方

１～２校で教職経験があり、様々な実践課題が見え始めた方

次世代のミドル・リーダーを目指す方

大学院進学を希望する学生の方

教員免許状（一種）取得見込みで、多様な現職教員と交流することを通じて、教育実践の課題を総体として理解し、学校教員としての自覚を持ちたい方

特別支援教育高度化コース　多様化に応える教育実践力を磨く

ミドル・リーダーを目指す方

次のミドル・リーダーを目指す方

教職経験３年以上の方

障害の重度化・重複化に対応できる専門性の高い特別支援学校教員を目指し、学校マネジメント力または高度な実践力を身につけたい方

次世代のミドル・リーダーを目指す方

大学院進学を希望する学生の方

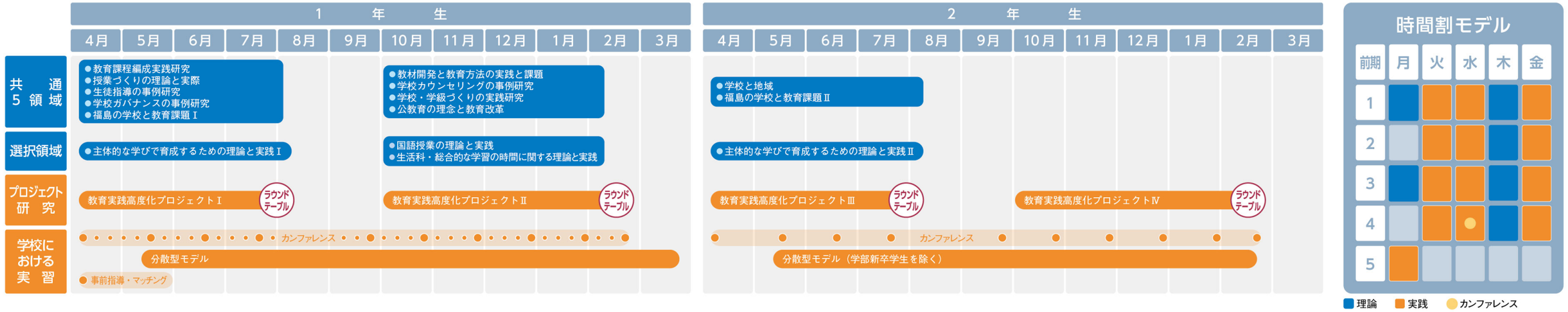
教員免許状（一種）取得見込みで、障害の重度化・重複化に対応できる専門性の高い特別支援学校教員を目指す方

教育課程

カリキュラムは、「共通５領域」、「選択領域」、「学校における実習」、「プロジェクト研究」に分かれています。また、理論と実践の往還を進める場であるラウンドテーブルに年2回参加・実践報告します。

科目領域＼コース	ミドル・リーダー養成コース	教育実践高度化コース	特別支援教育高度化コース
理論	共通５領域（必修20単位）	現代的な教育課題への基礎対応力を形成 教育課程の編成・実施／教科等の実践的な指導方法 生徒指導・教育相談／学校教育と教員のあり方 学校経営・学級経営／福島の学校と教育課題	
理論	選択領域（選択８単位）	学校改革領域 学校マネジメント科目 学校改革科目	授業改善領域 教科横断型授業改善科目 各科授業改善科目	特別支援に関する理論と実践領域 特別支援に関する理論と実践科目
理論と実践の往還	ラウンドテーブル		
実践	学校における実習（必修10単位）	学校課題対応実習（中堅現職学生） 教職専門実習Ⅱ（中堅現職学生） 学校支援実習Ⅱ（中堅現職学生）	長期インターンシップⅠ・Ⅱ（学部新卒学生） 教職専門実習Ⅰ（若手現職学生） 学校支援実習Ⅰ（若手現職学生） 教育実践高度化実習（若手現職学生）
実践	プロジェクト研究（必修８単位）	学校課題対応プロジェクト研究 授業実践高度化プロジェクト研究 特別支援教育実践プロジェクト研究 実践の省察 → 課題の明確化 → 解決法探索 → 計画実践 → 分析評価 → 報告書作成 自らの課題を明確にして必要な理論・方法を学び方策を計画・実践して結果を分析・評価	

教職大学院での学びのイメージ



時間割モデル

前期	月	火	水	木	金
1	理論	実践	実践	理論	実践
2		実践	実践	理論	実践
3	理論	実践	実践	理論	実践
4		実践	カンファレンス	理論	実践
5	実践				

ミドルリーダー養成コースの実習

教職専門実習Ⅱ
学校参観・教育委員会の訪問や学校でのジョブ・シャドーイングをおこないます。

学校支援実習Ⅱ
授業・学校行事等に参画しチーム学校のあり方を検討します。学部新卒学生のメンターも務めます。

学校課題対応実習
公開研究や校内研修の企画・運営に参加します。

教育実践高度化コース（若手現職学生）の実習

教職専門実習Ⅰ
先進的な研究校を参観します。

学校支援実習Ⅰ
連携協力校の授業や学校行事等を支援します。

教育実践高度化実習
連携協力校でチームティーチングによる授業研究・提案授業等を実施します。

教育実践高度化コース（学部新卒学生）の実習

長期インターンシップⅠ・Ⅱ
教員の仕事を総体として理解するとともに、実践から課題を見いだします。

カンファレンス（週間・月間）への参加

現場での実習や支援を振り返って大学教員からアドバイスを受けたり、学生や教員で事例検討をしたりします。

ラウンドテーブルへの参加・報告

５～６名の小グループで報告し討論することで、教育現場での実習や支援を省察し、次の活動へと活かします。県内外からの参加者を募り、大規模に開催します。

福島大学 教職大学院Q＆A

Q1 今までの大学院修士課程との違いは何ですか？

大きな違いは、学校現場を通して高度な実践力を身につけることを目指していることです。

Q2 修士論文は書くのですか？

修士論文の提出は求めません。代わりに、日頃の実践を理論的にみつめて省察した成果をまとめた実践報告書を作成します。

Q3 学校における実習はどこの学校でやることになるのですか？

現職の方は、在籍校または大学近隣の連携協力校（附属学校を含む）での実習を選択できます。学部新卒学生は、大学近郊の連携協力校で実習を行います。

Q4 プロジェクト研究は、小・中・高・特別支援等の校種や教科などは、自分の希望するもので取り組めるのでしょうか?

はい。自身が希望する校種、教科での実施が可能です。実施テーマについては、実習校とのすりあわせが必要となります。

Q5 教職大学院の施設や設備等、学習環境はどのようになっていますか？

大学ではPCタブレット、プロジェクター等のICT環境が整備された共同スペースがあり、専用の机が貸与されます。
もちろん学内の図書館等も利用可能です。

Q6 教職大学院に入学する前や在学中に教員採用試験に合格した場合、採用名簿登録期間を延長してもらえますか?

福島県教育委員会では申請により、在学期間（２年間）について採用名簿搭載期間の延長が可能です。手続き等は教育委員会にお問い合わせください。

取得できる学位・免許

以下の専修免許状が取得できます。
教職修士（専門職）の学位が２年間の課程で取得できます。

幼稚園教諭専修免許状
小学校教諭専修免許状
中学校教諭専修免許状　（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）
高等学校教諭専修免許状　（国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語
農業、工業、商業、水産、福祉）
特別支援学校教諭専修免許状　※特別支援教育高度化コースのみ
養護教諭専修免許状
栄養教諭専修免許状

募集概要

※内容は予定であり変更する場合があります

求める学生像（アドミッションポリシー）

地域の教育課題について理解を深め、幅広い視野を備えるとともに、授業力、マネジメント力など高い実践力を身につけ、常に学び続け、教育課程の改善や学校改革をけん引する教育のミドル・リーダーをめざす学生を求めます。

募集人数と選抜方法

詳細は、大学webサイト及び学生募集要項をご覧ください。

募集人数　16名（うち現職教員８名程度）

出願資格　大学を卒業した者（卒業見込みの者）で、教員免許状（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護・栄養の普通免許状一種）を取得（見込みを含む）している方

選抜方法

一般入試
対　　象：出願資格を有している方
検査項目：小論文、学習履歴レポートに基づく面接（口述試験を含む）、出身大学（学部）の成績証明書

現職教員特別入試
対　　象：出願資格を有し、出願時までに３年以上の教職経験及び出願年度内に勤務実績のある方
検査項目：実践記録レポート、面接（口述試験を含む）

学類生特別入試
対　　象：出願資格を有し、以下に該当する方
- 福島大学人間発達文化学類を卒業見込みである
- 卒業研究指導教員による推薦を得ている
- 実践研究の課題が明確で卒業後の入学を確約できる

検査項目：学習履歴レポート、成績証明書、面接（口述試験を含む）

学　　費

入学料　282,000円　　授業料　535,800円（年額）

※福島県教育委員会派遣の方は入学料の半額を免除します。

お問い合わせ
国立大学法人 福島大学 Fukushima University
教職大学院設置準備室　（人間発達文化学類 支援室）
〒960-1296　福島市金谷川１番地
TEL　024-548-8101　　FAX　024-548-3181